

名 誉 会 員 推 挙

大 浦 隆 殿 (生年 1949年)

現 職	株式会社フルテック 取締役副社長兼富山支店長
略 歴	1973年3月 金沢大学大学院工学研究科修了
	1973年4月 ピー・エス・コンクリート株式会社入社 (現㈱ピーエス三菱)
	1990年3月 フランス キャンプノンベルナール社留学 (～10月)
	1998年4月 名古屋支店技術部担当部長
	1999年7月 本社土木技術部長兼企画部長
	2004年5月 本社技術本部長兼開発技術部長
	2009年4月 株式会社ピーエス三菱 退職
	2009年5月 日本高圧コンクリート株式会社入社
	2013年8月 株式会社フルテック入社
本工学会歴	正会員 (1973年6月より現在に至る)
主な業績	合成アーチ巻立て工法の研究開発1982年～1987年と普及(旭橋1989年, 城址橋1989年, 実績多数), 波形鋼板ウェブ橋の日本への技術導入・研究開発と普及1990年～(新開橋(日本最初の波形鋼板ウェブ橋)1993年, 本谷橋(日本最初の張出し工法による波形鋼板ウェブ橋)1998年, 実績多数), 日本道路公団の先進的大型橋梁の設計監理技術者(重信川高架橋1993年～, 揖斐川橋西工事1997年～), 日本道路協会コンクリート橋小委員会委員, 土木学会コンクリート委員会委員

中 村 一 樹 殿 (生年 1949年)

現 職	NPO法人「橋梁を未来に生かす技術集団」理事長
略 歴	1973年3月 九州大学工学部土木工学科卒業
	1973年4月 オリエンタルコンクリート株式会社入社 (現オリエンタル白石㈱)
	1982年8月 西ドイツ(当時)研修留学
	1996年4月 名古屋支店工務部長
	2005年4月 本社技術部長
	2007年4月 執行役員 本社工務部長
	2008年8月 株式会社パスコ入社
	2018年1月 NPO法人「橋梁を未来に生かす技術集団」理事長
本工学会歴	正会員 (1973年4月より現在に至る)
	理事 (2006年～2007年)
主な業績	会誌編集委員会委員 (1985年～1987年), PC技術規準委員会委員 豊後橋(PC斜張橋)設計主任1982年～, PC斜張橋・PC吊床版橋・PCトラス橋の設計施工技術開発1984年～, 日本道路協会コンクリート橋小委員会委員

森 田 雄 三 殿 (生年 1949年)

現職	三井住友建設株式会社 大阪支店
略歴	1974年3月 京都大学工学部土木工学科卒業
	1974年4月 住友建設株式会社入社 (現三井住友建設株式会社)
	1982年1月 イギリス Mott, Hay and Anderson 社にて研修留学 (～1983年1月)
	2004年10月 京都大学大学院工学研究科 非常勤講師 (～2008年3月)
	2008年12月 社団法人プレストレストコンクリート技術協会出向 (現公益社団法人プレストレストコンクリート工学会)
	2010年5月 同 専務理事・事務局長
	2014年8月 三井住友建設株式会社 大阪支店
本工学会歴	正会員 (1983年4月より現在に至る) 専務理事・事務局長 (2010年5月～2014年5月)
主な業績	P C鋼材委員会委員, 第1回 <i>fib</i> コンGRES技術展示委員会幹事長など P C橋のクリープによる不静定力解析の検討 (1977年), 複合斜張橋 (本四公団 生口橋) の詳細設計および施工 (1987年), P C高架橋 (第 二京阪道路) のプレキャスト工法の検討 (2004年)

(五十音順)